

季刊 旬のブンカが集うコミュニティマガジン

ブンカ

BUNKA

vol.
94
2024
autumn



旬の文化が集うコミュニティマガジン

季刊

ブンカ

BUNKA vol.94 2024.9.15

発行/公益財団法人福井県文化振興事業団 福井県立音楽堂「ハーモニーホールふくい」
〒918-8152 福井市今市町40-1-1 ☎077-638-2288 <https://www.hhl.jp>



Interview
日本人初の国際的ヴァイオリニスト
その原点と今

ヴァイオリニスト 堀米ゆず子氏



(公財)福井県文化振興事業団



ハーモニーホールふくい

福井県年縞博物館(若狭町)



三方五湖(美浜町・若狭町)
「三方五湖」は、水月湖と三方湖、菅湖、久々子湖、日向湖の5つの湖の総称。水質や水深の違いで全て違う色に見えることから「五色の湖」とも呼ばれ、レインボーライン山頂公園から絶景を望むことができる。2005年11月ラムサール条約湿地に登録。

福井県年縞博物館
場所/三方上中郡若狭町鳥浜122-12-1
縄文ロマンパーク内
TEL/0770-45-0456
アクセス/舞鶴若狭自動車道
「三方五湖スマートIC」から車で約5分



歴史をひも解く
「世界標準のものさし」

三方五湖の水月湖で年縞が確認されたのは1991年のこと。直接流れ込む河川がなく、湖底に生息する生物もいない。さらに湖の構造上堆積物で湖が埋まらないという奇跡が、7万年もの間美しい縞模様を育ててきました。そしてこの年縞は、考古学や地質学の「世界標準のものさし」に認定され、年代測定の精度を飛躍的に高めることになったのです。

福井県年縞博物館では水月湖で採取された45メートルもの年縞を、ステンドグラスに仕立てて展示しています。採取に至る歩みや年代測定の方法、地球の気候変動との関係など、年縞の研究成果を一堂に集めた世界で唯一の博物館で、日本博物館協会賞を始め学術・建築の面からも数々の表彰を受けています。

年縞は春から秋に暗い色、晩秋から冬には明るい色の層を形成し、その時の気候や大地の変動も綴じ込む。歴史の語り部。刻まれた年輪の奥には、太古の地球が詰まっているのです。

※表紙の写真は、魚眼レンズを付けたカメラで4方向360度撮影したものをパノラマ合成したものです。

CONTENTS

- 1 今号の表紙
2 Essay 昭和はじめの福井を賑わせた「だるま屋少女歌劇」文 朝倉由希氏
3 Interview 日本人初の国際的ヴァイオリニスト その原点と今 ヴァイオリニスト 堀米ゆづ子氏
5 「ハーモニーホールふくい」自主公演情報
9 越のルビーアーティスト 木下由香氏 (ピアニスト)
10 私の好きなハーモニーホールふくい ノゾエ征爾氏 (脚本家・演出家) / カーテンコール
11 アートシーン (キーパーソン) 湊ノ芸術祭実行委員会 高橋敏介さん
(アートの息吹) 株式会社ジャクエツ (敦賀市) / (アートプロジェクト インフォメーション)
13 2024年10~12月開催「ハーモニーホールふくい」コンサート情報
14 Information

Essay

昭和はじめの福井を賑わせた「だるま屋少女歌劇」

文 朝倉由希



あさくら ゆき ●福井生まれ・在住。京都大学文学部卒業。東京藝術大学大学院音楽研究科応用音楽学博士後期課程修了。博士(学術)。アートマネジメント、文化政策を専門とする。2017年度から文化庁地域文化創生本部研究官。2021年4月から公立小松大学国際文化交流学部准教授。福井県芸術文化アドバイザー。共著に「文化で地域をデザインする―社会の課題と文化をつなぐ現場から」(学芸出版社、2020)など。

前号で触れたように、1928(昭和3)年に開店した百貨店だるま屋は、子どもに焦点をあてた事業を展開し、1931年には別館「コードモの国」を開設した。180席の劇場が設けられ、そこで活動したのが「だるま屋少女歌劇」である。同年11月の初公演から1936年7月までの5年間にわたり、連日の上演で福井の人々を楽しませた。



「だるまや少女歌劇 絵はがき」(福井県文書館提供)

その理由で消滅していったが、この時代に民間事業者によって各地で独自に文化を育てる動きが盛り上がっていたことは興味深い。だるま屋少女歌劇は、創業者坪川信一が松竹歌劇団に範を取って創設したとされる。尋常小学校卒以上、今でいうと中高生にあたる年齢の少女12名が1期生として採用され、5年間の活動期間中には計約30名が在籍した。百貨店の店員と同じ待遇で所属したが、出勤後は音楽、踊り、演技等のレッスンを受け、演出にあたったのは、東京から招かれた指導者で、厳しく鍛えられた。「強く正しく私の心離れていせしまん(私心なく努力しましょう)」。フィナーレで歌われるだるま屋店歌の歌詞にもあらわれているように、坪川は少女たちに、福井の文化の一端を担っている誇りと自覚を持たせ、気品と教養を身につけさせたという。

小学校4年まで福井で過ごした作家の津村節子は、随筆集「花時計」の中で、だるま屋少女歌劇を観劇した思い出を記している。教育上好ましいと考えた母に連れられて毎月訪れ、様々な演出を楽しんだ。楽屋入りする出演者たちをファンが待つ様子も描かれ、当時の人気ぶりがうかがえる。約90年前の福井で、5年間という短い活動期間ではあったが多くの人に愛された少女歌劇。実際に体験し記憶する人は少なくなっているが、県の図書館には出演者から寄贈されたプロマイドや公演プログラム等がそろそろ。モダンなデザインのプログラムは今見ても新鮮で、プロマイドの凛々しい表情にも心奪われる。これまで数回の展示を行い、貴重な歴史を未来に伝えている。また、2022年には、だるま屋少女歌劇をモチーフとする舞台作品「雨の夏、三十人のジュリエット」が選んできた。市民参加によりハピリンホールで上演された。福井を賑わせたかつての少女歌劇の記憶が、様々な形で語り継がれてほしい。

ヴァイオリニスト

堀米 ゆず子

Yuzuka Horigome

日本人初の国際的ヴァイオリニスト
その原点と今



ほりごめ・ゆずこ ●5歳からヴァイオリンを始め、1980年桐朋学園大学卒業。同年エリザベト王妃国際音楽コンクールで日本人初の優勝を飾る。以来、世界一流のオーケストラ、指揮者と共演を重ね、室内楽や後進の育成にも熱心に取り組んでいる。2016年5月から仙台国際音楽コンクールヴァイオリン部門審査委員長。2015年7月、春秋社より著書「ヴァイオリニストの領分」刊行。現在、ブリュッセル王立音楽院教授、マーストリヒト音楽院教授。使用楽器は、ヨゼフ・ヴァルネリ・デル・ジェス（1741年製）。

日本が誇る英才教育 その真骨頂を学ぶ

この12月にハーモニーホールふくいに初登場する堀米ゆず子さんは、1980年に東洋人として初めてエリザベト王妃国際音楽コンクールで優勝したヴァイオリニスト。現在のように日本人が西洋音楽の世界で活躍することが当たり前でなかった時代、堀米さんはその重い扉を自らの力で開いた最初のアーティストといえるでしょう。そんな堀米さんの原点は、桐朋学園子どものための音楽教室にありました。「4歳の時から聴音やリトミックなどのソルフェージュを叩き込まれ、さらに中学時代には和声の勉強と本格的な英才教育を受けました。そのありが

たみに気がついたのは日本から出たあと。欧米でも早期のソルフェージュ教育は当たり前ではなく、音楽教室での教育が実に進んだものだったことを実感しました」

また、ヴァイオリン演奏では江藤俊哉先生の教えがとて役に立ったと語ります。

「江藤先生は自分でピアノの伴奏を弾きながらレッスンしてくださいなんです。私も自分のヴァイオリン演奏を録音してそれに合わせてピアノを弾いてみたところ、どこがおかしいかが一度でわかりました。ヴァイオリンは旋律楽器ですから、音楽全体を理解するためにピアノに書かれているバスの進行や和声を理解する必要があります。それができて初めて演奏に説得力が生まれるのだと納得しました」

多くの演奏家との出会いに 彩られた人生

そのキャリアをエリザベトコンクール優勝という偉業でスタートさせた堀米さん。それまで留学をしたこともなかった彼女にとって、それは「広い海にたったひとりで放り出されたようなもの」だったそうです。

「小澤征爾さんから、一回でも演奏

会で失敗したら取り戻すのに5年はかかる、と言われて、これは大変な世界に来たぞ、と（笑）1981年から参加したマルボロ音楽祭で出会ったルドルフ・ゼルキンからはアバドを紹介されたり、とても助けられました。そしてモーツァルト・カメラータ・アカデミカの指揮者だったシャーンドル・ヴェーグからはモーツァルト演奏に関してたくさんのお話を教えられました」

他にもギドン・クレーメル、マルタ・アルゲリッチ、ミッシェル・マイスキー、リッカルド・シャイーなど、交流を深めてきた演奏家は枚挙に暇がありません。今回共演する大宅さおりさんは、堀米さんがブリュッセル王立音楽院で教鞭を取り始めた時に生徒の伴奏者として出会ったのがはじまりだそうです。その時レッスンで弾いたプロコフィエフ「5つのメロディ」は今回のプログラムにも入っています。

プライベートでは2人の子どもを育て上げ、現在は愛犬の世話に心血を注いでいるというチャーミングな一面もある堀米さん。文字通り日本を代表するヴァイオリニストの登壇に、期待が膨らみます。

構成・文／室田尚子
（音楽評論家）



ピアノ：大宅さおり

巨匠が奏でる クラシック音楽の王道

日本人として初めてエリザベト王妃国際音楽コンクールで優勝した世界的ヴァイオリニストの堀米がハーモニーホールふくいに初登場。越のルビーアーティストであり、多くのアーティストが信頼を寄せる大宅と共に、プロコフィエフやR. シュトラウスの作品を中心にしたプログラムで、クラシック音楽の王道をお楽しみいただきます。

協賛：福井新聞社

堀米ゆず子&大宅さおり デュオリサイタル 12.21

14:15開場 15:00開演／小ホール
全席指定・車いす席 ¥4,500(学生 ¥2,000)
出演／ヴァイオリン：堀米ゆず子、ピアノ：大宅さおり
曲目／ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ 第2番
J.S.バッハ：無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ 第2番
プロコフィエフ：ヴァイオリンとピアノのための5つのメロディ
R.シュトラウス：ヴァイオリン・ソナタ

助成：文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）

チケット発売日（電話・窓口・インターネット）

会員先行 特別協賛：9/10(火) 友の会：9/11(水) 一般：9/14(土)



世界各国から堀米氏のもとに学びに来ている若い音楽家たちが、自国の郷土料理を振る舞う国際的なディナーにて（2023年）

ウィーン・イヤ-291



オットー・ビーバ 1946年にオーストリアのウィーンに生まれる。1974年ウィーン大学で博士号を取得。ウィーン楽友協会資料館に長年にわたって勤務し、2021年まで40年以上の長きにわたって館長を務めた。ウィーンをはじめ西洋音楽の様々な知見を日本で広めたことが評価され、2010年に日本政府より旭日小綬章を受賞。膨大な著作の中には、「ウィーン楽友協会 200年の輝き」「音楽交流のはじまり」など、日本の読者を念頭に書いたものもある。

音楽学者、ウィーン楽友協会資料館前館長

オットー・ビーバ 独占インタビュー

Otto Biba

ウィーンが「音楽の都」になった素朴な理由 「ウィーン音楽の「生き字引」オットー・ビーバ氏が語る」

「ここ(取材場所のカフェ・インペリアル)は、音楽家や音楽ファンの集まる、いわば「音楽食堂」なのです」
ウィーン音楽の生き字引ともいえる音楽学者であり、この街の誇る文化施設の一つ、ウィーン楽友協会の資料館館長を40年以上にわたって務めたビーバさんとのインタビューは、こんなふうにして始まった。「何しろ、私も勤務していた楽友協会の真横に位置しているので、演奏会の前後、出演者や聴衆

を問わず大勢の人が出入りします。つまり食事をとったりお茶を楽しんだりといった、いわば日常生活に欠かせない行動のすぐ横に音楽がある。だからこそウィーンでは、演奏会や劇場に行く時に、他の街のように特別にキメたファッションをしてゆく人は少ないんです。もちろん、ちょっとだけお洒落はしますけれどね。」

そう語るビーバさん自身、ウィーンで生まれ育って行く中で、どのようにして音楽に親しんでいったのだろうか。「多くの演奏会場や劇場では、年間の自主公演を発表するタイミングで、それらの幾つかを組み合わせて、いわば年間の通し予約券を売り出します。そうすると、自分の席のまわりだんだんと顔見知りが出てくるようになりますね。つまりそこで、1つのコミュニティが生まれる。子どもが親に連れられてそうした場所にゆくと、近くの大人たちに顔を覚えてもらい、何かの

ウィーンの生活に欠かせない カフェとスイーツのお話



「カフェの中に住む都市」と呼ばれるほど、生活の中にカフェが欠かせないウィーン。歴史的にウィーンのカフェは、単にお茶を飲んで休むだけでなく、そこからさまざまな芸術や文化が生まれる場所でもありました。19世紀末から20世紀初頭にかけての世紀転換期には、詩人や作家たちが集まって議論を交わしたりする「文学カフェ」と呼ばれる店が数多く生まれ、歴史にその名を刻んでいます。もちろん、カフェに集ったのは文学者だけではありません。

持つてきてくれます。コーヒーと一緒にいただくならウィーンの伝統菓子が欠かせません。メッテルニヒの料理人だったフランツ・ザッハーが発明したザッハトルテ。女帝マリア・テレジアが愛したといわれるリングのお菓子アプフェルシュトゥルデルなどなど。カフェにはウィーンの歴史が深く刻み込まれているのです。

「ウィーン・イヤ-291」の最後を締めくくることが、12月13日に美浜町で開催されるフィルハーモニクスウィーン・ベルリンの公演。世界の頂点に君臨する2つのオーケストラ、ウィーン・フィルとベルリン・フィルのメンバーとその仲間たち7人からなるフィルハーモニクスウィーン・ベルリンは、クラシック音楽、ジャズ、民俗音楽などさまざまなジャンルの音楽を縦横無尽に融合させたボーダレスな表現が魅力です。今回はクリスマステーマにスタンダードナンバーや東欧の民謡に題材を得た作品などを、彼らならではのオリジナルなアレンジでお届け。私たち日本人にとっては馴染み深い坂本龍一の「戦場のメリークリスマス」もプログラムされており、これは絶対に聞き逃せません。

都合で親が行けなくなり子供だけだったりすると、「今日はどうしたの？」と声をかけられるようにもなってしまう。そんな、1カ月に1度くらいの「近所づきあい」が楽しくて、劇場や演奏会場に足を運ぶ人も多いのですよ。本当はもっと舞台が見えやすい場所に移りたいのだけれど、そうしたおつきあいがなくなるのが嫌で、元の席でずっと我慢、などということもたまにあります(笑)」

理由なのでしょう。インタビューの合間合間に、ビーバさんが目を落としていたものがある。インターネット上の地図に記載された福井の位置だ。「自分は何度も日本へ行っているけれど、FUKUIには足を運んだことがありません。でも豊かな自然に囲まれている...ということとは、食べ物や飲み物も美味しいはず。となればウィーンのように、FUKUIの真ん中に音楽文化が位置を占め、それをたくさんの人々が食卓のように囲む可能性はいくらでもあるのではないのでしょうか？」そして別れの握手とともに、こんなメッセージを戴いた。「FUKUIの皆さんにくれぐれもよろしく！」

「子供の時の楽しい記憶があれば、成人してある程度の期間は仕事や家庭に時間をとられることはあっても、必ず人はそこに戻ってきます。またウィーンには、そんな素朴な伝統が確かに培われています。そうした意味でこの街は、オーストリアの首都であり、さらに昔はハプスブルク家が支配する巨大な君主国の帝都であった反面、きわめて地方都市的な特徴を具えているのではないのでしょうか。顔見知りの人たちが一緒に集う、一種の村のような心地良さが、常にここにはある。しかも皆が集う真ん中に、食事と同様に音楽が位置しているというのが、ウィーンが「音楽の都」と呼ばれている大切な



ウィーン市中心街に威容を誇るインペリアル・ホテル。インタビューが行われたカフェ・インペリアルは、この一画にある。

協賛: 関西電力 power with heart JAKUETS

12.13 金 フィルハーモニクス ウィーン=ベルリン
会場/美浜町生涯学習センター なびあす

18:15開場 19:00開演
全席指定・車いす席 ¥5,000 (小~大学生:半額)
出演/フィルハーモニクス ウィーン=ベルリン
ヴァイオリン:ノア・ベンディックス=バルグリー、セバスティアン・ギョルトラー
ヴィオラ:ティロ・フェヒナー、チェロ:シュテファン・コンツ
コントラバス:エーデン・ラーツ、クラリネット:ダニエル・オッテンザマー
ピアノ:クリストフ・トラクスラー

曲目/H.マーティン、R.ブレイン(S.ギョルトラー編):メリー・リトル・クリスマス
J.フェリシアノ(S.ギョルトラー編):フェリス・ナヴィダ
坂本龍一:戦場のメリークリスマス ほか

(共催:美浜町、美浜町教育委員会) なびあすWEB予約 ※一般 9/14(土)9:00~

チケット発売日(HHF:窓口のみ) 会員先行 特別協賛:9/10(火) 友の会:9/11(水) 一般 9/14(土)



フィルハーモニクス ウィーン=ベルリン

関連企画

10.2 水~8 火 ウィーン伝統菓子フェア in 西武福井店
~音楽の都で多くの作曲家に愛されたお菓子を召し上げ~

会場:西武福井店 1階=特設会場 ※写真はイメージです。
【出店一覧(50音順)】
●ESPOIRエスフォル
●けーきやYANAGIMOTO
●シュトラウス金運堂
●西洋菓子倶楽部
●パティスリー・オルロージュ
●村中甘泉堂

10.24 木 ハーモニー・ブンカさろんタイアップ企画
「音楽の都」ウィーンを秘密を探る
~ウィーン・イヤ-291に寄せて~

会場:ハーモニーホールふくい 小ホール
出演:お話/小宮正安 演奏/吉田珠代(ソプラノ)、伊藤明美(ピアノ)
入場料:全席自由・車いす席 ¥2,500

チケット発売中

10.25 金 ビジネスパーソンのための文化芸術セミナー
「芸術の都ウィーン」を支えた経済と音楽

会場:福井商工会議所ビル コンベンションホール
出演:お話/小宮正安 演奏/吉田珠代(ソプラノ)、伊藤明美(ピアノ)
受講料:2,000円
主催:福井県、(公財)福井県文化振興事業団、福井商工会議所、福井日伊英米交流協会

お申込みはこちら

小宮正安 吉田珠代 伊藤明美



東京チェロアンサンブル

人気・実力No.1! 華麗なるチェロの響き

2008年に同世代のチェロアンサンブル(以下TCE)が結成から15年を超え、現在、10人のメンバーはそれぞれソリストやオーケストラの首席奏者などのポジションで活躍をしています。互いに切磋琢磨しながら今なお成長を続けるその姿は、多くのファンを魅了し続けています。ハーモニーホールふくいには2018年に初登場しましたが、チケットは即完売。ハーモニーホールふくい初めてとなる追加公演が行われるなど、ホールにとっても記憶に残る公演となりました。これまで、豊かな音色と緻密なアンサンブルを持つTCEの再演を望む声を数多

協賛: FBC

東京チェロアンサンブル New Year Concert 2025

2025.1.5日

14:15開場 15:00開演/大ホール
全席指定・車いす席 ¥6,000
(小~大学生:半額*)

特別協賛会員・友の会会員 2割引

出演/東京チェロアンサンブル
(荒井 結、清水詩織、高木慶太、中 実穂、新倉 鐘
堀 沙也香、三宅依子、宮坂拓志、宮田 大、横山 桂)
曲目/クレンゲル:讃歌、テーマとバリエーション
アルゼンチンタンゴ(チャルロ:フィジェ(蛇腹)
モーレス:ブエノスアイレスの喫茶店、ラ・カレシータ(回転木馬))
廣羽弘晃:蛭なすほのかに聴きて"日本の旋律による音風景"
バーンスタイン:ウェスト・サイド・ストーリー組曲

無料バス運行! (坂井市・大野市内から)
フリンドリーアート号

*特別チケット(小学生~18歳以下:無料)
文化庁・劇場・音楽堂等における
子供舞台芸術鑑賞体験支援事業 実行委員会

詳細情報は
こちらから
10/19公開予定

チケット発売日(電話・窓口・インターネット)
会員先行 特別協賛: 10/22(火) 友の会: 10/23(水)
一般 10/26(土)

くいただいていきましたが、ついに2025年のニューイヤークンサートに登場することになりました。チェロアンサンブルのオリジナル曲というのはそれほど多くはありません。その中でも、クレンゲル作曲の「讃歌」は随一の人気曲。同じく4台のチェロのために書かれた「テーマとバリエーション」とともに、この上なく美しいチェロの音色の醍醐味をたつぷりと味わっていただきます。他の楽器やオーケストラのために書かれた作品の編曲作品では、それぞれアンサンブルの人数を変えて演奏するのも見どころのひとつ。今回は、チャルロやモーレスによる「アルゼンチンタンゴ」を6人のアンサンブルでお届けするほか、バインスタインの「ウェスト・サイド・ストーリー」組曲を10人全員で演奏するのも聴き逃しません。

またTCEは、日本人作曲家の作品も積極的に取り上げています。チェロアンサンブルのために書かれた廣羽弘晃作曲「蛭なすほのかに聴きて」日本の旋律による音風景にもそんなレパートリーのひとつ。今回はTCEのために特別に改訂したバージョンでお送りします。笙や琴、琵琶など和楽器の音色をチェロがどのように表現していくのか、ご期待ください。

協賛: 福井新報社 FBC 福井テレビ

音楽×お芝居 「リスト ~愛の夢~」

2025.2.15日

13:15開場 14:00開演/小ホール
全席指定・車いす席 ¥3,500(学生 ¥1,500)
出演/構成・演出・出演:鈴木大介
バトン:井上雅人、ピアノ:大谷研人

チケット発売日(電話・窓口・インターネット)
会員先行 特別協賛: 11/26(火) 友の会: 11/27(水)
一般 11/30(土)

協賛: 日華化学

秋の子ども音楽会 あけてみよう♪音の宝箱

10.6日 チケット発売中

2回公演 ①10:30開場 11:00開演
②13:30開場 14:00開演
大ホールステージ
ステージ席・2階席(全席自由) ¥2,000(0歳~高校生:半額)
出演/ピアノ:プロデューサー:竹内真紀
ヴァイオリン:藤崎美乃、チェロ:金子鈴太郎
(制作補助:一般公募のディレクターズ)



ドリーマーズ・サーカス

10/20(日) 14:00~14:45
トークイベント開催
湖と森・おとぎの国、
デンマークを旅しよう!
お申込みはこちら↓

公演当日には「湖と森・おとぎの国」デンマークを旅しよう!と題するスライド上映会も開催。トークコーナーには、音楽プロデューサーの川島恵子とともにドリーマーズ・サーカスのメンバーも登場。デンマークの魅力に加えて「ハーモニー・ホール」誕生秘話も聞けるかもしれません。

森と湖の国デンマークから
世界を魅了する音楽を

2013年にデビューアルバム「リトル・シンフォニー」をリリースするやいなや、またたく間に北欧・デンマーク伝統音楽シーンのトップに躍り出た

協賛: 株式会社増田高

デンマークの最高峰トリオ ドリーマーズ・サーカス

10.20日 チケット発売中

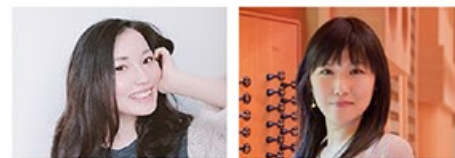
15:15開場 16:00開演/小ホール
全席指定・車いす席 ¥5,000(小~大学生:半額)
出演/ドリーマーズ・サーカス
ヴァイオリン:ルネ・トンスゴー・ソルセン
シタール:アレ・カー
ピアノ、アコーディオン:ニコライ・ブスク

3人組、ドリーマーズ・サーカスが、7年ぶりに福井にやってきました。前回2016年のハーモニーホールふくい公演は彼らにとって大変思い出深いものになったようで、2020年にはその名も「ハーモニー・ホール」と題する楽曲を発表。今回の公演では、彼らが得意とするパッサカリアや2022年にリリースされたゲーム「クロノ・クロス」の音楽とともに、この曲も披露してくれるはず。

ドリーマーズ・サーカスの魅力は、北欧の伝統音楽をベースにしながら、クラシック音楽の要素をミックスしたシンフォニックなサウンドにあります。彼らの音楽性に魅了されたアーティストの中には、映画監督の宮崎駿、作曲家の光田康典など世界的なクリエーターも。世界が絶賛する唯一無二の個性、それがドリーマーズ・サーカスなのです。



Kraja(クラヤ)



トーク:作編曲:林イグネル小百合 オルガン:梅干野安未

協賛: 福井銀行

日本と北欧をつなぐ 6人の女性たち

Organ 20th Anniversary with 梅干野安未 Krajaと過ごす北欧のクリスマス ゲスト:林イグネル小百合

12.7日

13:15開場 14:00開演/大ホール
全席指定・車いす席 ¥3,000(小~大学生:半額)
出演/Kraja

(リサ・レスタンデル、エヴァ・レスタンデル
フリーダ・ハンソン、リンネア・ニルソン)

トーク:作編曲:林イグネル小百合

オルガン:梅干野安未

予定曲目/[Kraja]

アドン:さやかに星はきらめき O holy night!

スウェーデン伝統のクリスマスソング ほか

[梅干野安未]

J.S.バッハ:「高き天よりわれは来り」によるカノン風変奏曲 から

坂本龍一(梅干野安未編):映画「戦場のメリークリスマス」から

「Merry Christmas Mr.Lawrence」 ほか

(共催:福井テレビ)

チケット発売日(電話・窓口・インターネット)

会員先行 特別協賛: 9/10(火) 友の会: 9/11(水)

一般 9/14(土)

今年のはじめに活動する4人組のメロを拠点に活動する4人組のメロ

今年のクリスマスは、北欧の歌声とオルガンの響きに浸ってみませんか。Kraja(スウェーデン語で「理想郷」の意)はスウェーデン北部の都市ウメオを拠点に活動する4人組のメロ

コーラス・グループ。家畜を呼び寄せる時の歌唱法である「キューリング」や北欧各地に伝わる伝統民謡などを、巧みなコーラスで紡いでいきます。今回はナビゲーターに福井県出身で、現在はスウェーデンのストックホルム在住の音楽家でアーティストの林イグネル小百合を迎え、北欧の生活やクリスマスについてのお話を聞きつつ、Krajaの歌声に耳を傾けていただきます。

後半はフランスをはじめとする世界各地で活躍するオルガニストの梅干野安未が、パッサカリアやチャイコフスキー、坂本龍一など世界各国のクリスマスにまつわる楽曲を披露します。

同日開催
来場者特典!
クリスマス・マーケット
林イグネル小百合
トーク&ミニライブ
(12時30分~
12時30分、
要申込/先着60人限定)



ノゾエ征爾 (脚本家・演出家)

ノゾエ・せいじ ●脚本家・演出家・俳優・劇団「はえぎわ」主宰。1995年、青山学院大学在学中に演劇を始める。99年に劇団「はえぎわ」始動以降、全作品の作・演出を手掛ける。2012年、はえぎわ公演「〇〇トアル風景」にて、第56回岸田國士戯曲賞受賞。約1,600人の高齢者が出演した大群集劇「1万人のゴールドシアター-2016」のさいたまスーパーアリーナでの上演や松尾スズキ原作の絵本を舞台化した「気づかいルーシー」など劇団外でも活躍。



小ホールホワイエ。大ホール、小ホール、どちらも一面ガラス張りとなっており、ホール南側の景色を一望することができる。時間帯やその日の天気によっては、全く違う景色を見せてくれる。そして、ホワイエの中央に堂々と位置するのは、2階席へと続く階段。左右へ延びる賑やかな雰囲気にも圧倒される方も少なくない。

私の好きな

ハーモニーホールふくい



作品の助走となる空間「ホワイエ」

「窓から広がる景色と、ホワイエ中央に構える階段の豪華絢爛さ」が印象的だと語るノゾエ征爾さん。「これから作品に触れていこうという時に『特別な場所に来たんだ』と気持ちが高まり上がる空間がそこにある。それがいいんです。」
お客さんが公演に来た時に「生活感のある畑、ホールを囲む緑、長い石畳のアプローチの先にある円形のドーム(エントランス)を抜けてホワイエへ足を踏み入れると、特別な空間に迎えられる『生活空間と会場が地続きだからこそ、段階を踏んで公演の期待感を徐々に高めていける点が魅力だ』といいます。日常と非日常が交わるこの空間を、普段より少し意識して歩いてみると、より公演を楽しめるかもしれません。

カーテンコール



下田昌克の絵本「死んだかいぞく」をベースに、脚本・演出のノゾエ征爾が絵本には描かれていなかった「かいぞく」の回想シーンを書き加え、新解釈の音楽劇として上演しました。色鮮やかな絵本の世界が見事に再現された舞台上で、出演者たちはシーン毎に様々な役柄を演じ、最後は珊瑚が美しく浮かび上がる幻想的な雰囲気の中で幕を閉じました。

- 音楽もセリフの一つ一つも衣装もとても素敵でした。(50代/女性)
- 音楽や舞台装置がよかった。(20代/女性)
- おもしろいジョークも入ってよかった!(~9歳/男性)
- 「死んだかいぞく」の文字が上手く活用されていてすごいと感じた。(10代/女性)
- 子供でも見やすい楽しい舞台でした。(30代/男性)
- 歌、演技、衣装、舞台などが面白くあっという間の100分でした。(60代/女性)

音楽劇「死んだかいぞく」

2024年8月10日(土)開催



左から 酒井可奈子さん、酒井滉介くん、早瀬笑美子さん (坂井市)

原作を読んだ後、公演があることを知りました。今日は息子と母も本を読んで予習済みです。演出が工夫された舞台上で、息子も楽しんでいました。「夏休みの日記に書ける」と喜んでいました。ダジャレや福井のネタにも笑えました。



左から 森田ゆきえさん、森田正人さん (大野市)

今朝SNSでおすすめ記事を見て来ました。音楽劇は初めてでストーリーも知りませんでしたが、ぐんぐん引き込まれて最後は胸にこみ上げるものがありました。原作は絵本ですが、大人が見ても見応え十分。コンサートの熱気とは違う静かな感動がありました。



越のルビーアーティスト

福井ゆかりの音楽家

木下由香 (ピアニスト)



きのした・ゆか ●金沢大学教育学部音楽科卒業、同大学院修了。ハンガリー国立リスト音楽院ピアノ科留学。第2回リスト・バルトーク国際ピアノコンクール3位入賞。仁愛女子短期大学幼児教育学科教授。(公財)日本ピアノ教育連盟北陸支部副支部長。第9期絵本専門士認定。近年、ピアノ演奏と絵本の読み聞かせを組み合わせた活動を行っている。

探究心を持ち続け、絵本専門士の資格も取得。ピアノの道が今につながって。

「その時々々に求められるものや興味・関心を持ったことを一生懸命学びながら、無我夢中でここまでできた」とあゆみを振り返る木下さん。ピアノを始めたのは保育園。金沢大学教育学部音楽科に進学し、ハンガリーへ留学。大学で非常勤講師を務めた後、仁愛女子短期大学音楽学科の専任講師となり、現在は同大学

幼児教育学科の教授として音楽を教えています。「ピアノがうまくなりた」と進んだ道。そこで学んできたことが、学生たちの指導に役立っている。すべてはつながっています。授業で扱う絵本に興味を持ち、昨年、絵本専門士[®]の資格を取得。その理由を、「絵本は読み聞かせる人・作者・聞き手、音楽は演奏者・作曲家・聴衆という3者の関係をはじめ、言葉のリズムや年齢を超えて楽しめるなど、共通するところがあります」と熱く語りまします。「地域に関わる仕事をお手伝いできたら」と、越のルビーアーティストに。今年12月には、ハーモニーホールふくいにて「ピアノと読み聞かせで綴る絵本コンサート」を開催します。当日は幼児教育学科の学生も参加し、「音の散歩道」として子どもたちに絵本に出てくる楽器の体験や楽器づくりの場を提供します。「今後は、乳幼児期の音楽教育を推進できるような活動や、福祉施設での演奏活動など、高齢化社会や多様性の社会において、幅広い世代の方に対して自分を役立てる機会を持てたら」と、展望を語りました。

※絵本専門士:絵本に関する高度な知識、技能及び感性を備えた絵本のスペシャリスト。

協賛: URALA communications

絵本専門士が贈るピアノと読み聞かせで綴る絵本コンサート

12.1回

13:15開場 14:00開演/小ホール
全席指定・車いす席 ¥3,000(4歳~高校生:¥1,000)
出演/ピアノ:木下由香、読み聞かせ:田中智美、ゲスト:霜鳥英梨
「音の散歩道」ファシリテーター:仁愛女子短期大学幼児教育学科学生
プログラム/描き下ろしイラストで贈る子どものための音楽物語「ピーターと狼」ほか



田中智美 霜鳥英梨

チケット発売日(電話・窓口・インターネット)
会員先行 特別協賛:9/10(火) 友の会:9/11(水) 一般:9/14(土)

●今後の活動
11/10(日)10:30~11:15
会場:高浜町和田公民館
「ピアノで奏でる絵本の世界」
12/21(土)13:00~13:30
会場:福井市こども家庭センター
アオッサ子育て広場「ミニコンサート」
いずれも無料、要予約

越のルビーアーティストとは、(公財)福井県文化振興事業団運営の「越のルビーアーティストバンク」に登録する福井県出身もしくは在住のプロの演奏家のこと。このアーティストバンクの活動に(公財)げんでんふれあい福井財団にご支援をいただいております。

公式ホームページでは「越のルビーアーティスト」の演奏動画もご覧いただけます。
<https://www.hhf.jp/artistbank/>



キーパーソン

「湊ノ芸術祭実行委員会」
高橋駿介さん



たかはししゅんすけ ●兵庫県出身で福井大学への進学を機に福井県に移住。大学時より三国のまちづくりを担う一般社団法人アーバンデザインセンター坂井(UDCS)の活動に関わる。空間運用のアイデアとともに建物リノベーションを行う合同会社LIGHT HOUSEを立ち上げる。

芸術祭は町の資源を可視化し、期待を抱かせる場
来場者が自分で楽しみむ町に変容させる

学生時代にまちづくりや都市計画を学んだ高橋さん。現在は坂井市三国町を拠点に建築関係の仕事に携わる一方、ゲストハウス「茶ノ下旅館」の運営など地域と人をつなげる活動をしています。昨年は同町の中心市街地に点在する建物を活用したアートイベント「湊ノ芸術祭」を、中心メンバーとして立ち上げ。「失われつつある文化的景観や建物をアートの力で次代につなげる。目的を明らかにして、三国ならではのイベントで新しい価値を生み出したかった」と企画の意図を語ります。

芸術祭では地元住民の協力を得て空き家やリノベーション済みの物件を開放し、映画上映やアーティストの作品を展示。作家は三国町で作品を作ったことがあるなど、すでに町を知る若手アーティストを中心に声かけをしました。これには町を捉える彼らの「見方を可視化して、フレッシュな視点を来場者に投げかけた」という狙いが



昨年の様子。120畳の空間は時にステージとなり、郷土芸能三国節が上演された。



空き家や蔵など計6つの会場に加え、アーティストが選んだお気に入りの場所を公開し来場者と共有する仕掛けを行った。

あったそうです。そして大きな話題となったのは、河岸に係留する船上に畳120枚を敷き詰めた空間です。「ここはかつて商家や町家が並び、今もその名残をとどめる町。海や水辺と密接な関係を築いてきた歴史を再構築して見せたかった」と高橋さん。畳はステージや来場者のくつろぎの場として、心地よい解放感を演出しました。

「空き家をギャラリー化して訪れる機会ができれば、今まで見ることがなかった海沿いの空間へのまなざしが生まれる。「人に意識される」ということが大進歩なんです」と高橋さん。アートを媒介に「この建物に住んでみたい」「商売ができるかもしれない」という前向きな人たちの想いで町が動く。描く将来像に向け、「芸術祭を1回限りで終えることはできない」と今年2回目を企画、仲間たちと準備に奔走しています。

【湊ノ芸術祭】「アートを通してまちと人が対話する祭り」をテーマに、三国の景色そのものを作品と捉え、三国に関する芸術作品を展示した周遊型のイベント。まちづくり団体や地域内事業者の協力を得て合同会社LIGHT HOUSEと一般社団法人アーバンデザインセンター坂井が共同で組織。今年は10/5~10/6、10/12~10/14に開催。

■活動報告はこちら



湊ノ芸術祭 茶ノ下旅館

※アートプロジェクト支援事業助成金の採択事業と活動者をご紹介します。

アートの息吹

株式会社ジャクエツ(敦賀市)

子ども向け遊具を製造販売するジャクエツは、今年5月、地元高校生や市民と一緒に北陸新幹線敦賀延伸開業を記念したウエルカムボード作り挑戦しました。自社製のブロックを使用したボードは、細部まで表現した気比神宮大鳥居と松の木や、透明ブロックを米に見立てたソースかつ井など、高校生たちの独創的なアイデアが好評でした。同社経営企画室課長赤石洋平さんは「作った人の楽しい気持ちや伝わるデザイン性の高い作品。大人にもブロック遊びの魅力が伝わりました」と話します。

ワークショップは、今後対象を拡大して本格化。自社工場の一部を解放し、市内の学校や園の関係者、企業などからの工場見学を受け入れ、社員と共に手を動かして、本気で遊ぶイベントになります。背景には「未来はあそびの中に」と信じ、そうしたコンセプトを持って遊具作りをしている会社が敦賀市にあることを広く知ってもらいたい」という強い想いがあります。

工場内には国内外の著名なアーティストの作品が飾られ、世界的に活躍するデザイナーや建築家とのコラボレーションを行った際のイメージボードも展示されています。創業100年を超える同社の商品は史料的価値が高く、敦賀市の歴史をのぞかせる一面もあります。2019年に完成したおしゃれで開放的な本社オフィスは、美意識を育てる空間そのもの。デザインワークショップや見学会を通してまちとつながろうとする企業の、心意気と今後をうかがうことができます。

株式会社ジャクエツ

1916年創業。保育教材の企画・開発・製造を中心に、あそびを軸とする共遊空間を活用した、まちづくりや施設づくりのコンサルティング事業を手がける。キッズデザイン賞、グッドデザイン賞など受賞多数。
福井本社:敦賀市若葉町2-1770
https://www.jakuets.co.jp/

※「アートの息吹」は県内企業のアートを通じた社会貢献活動をご紹介します。

アートプロジェクト インフォメーション 各イベント情報の詳細はこちらをご覧ください



越前おおのめいりんオペラ塾

11/24(日)
演劇から舞台セットの制作まで市民とともに作り上げたオペラ公演。
●学びの里めいりん講堂
●有料(高校生以下無料)
●トレモロ ☎090-2834-2691(協本)

繋ぐ糸・つながる刺し子

(前期)11/30(土)~12/8(日)
(後期)12/9(月)~22(日)
三国町安島の刺し子・安島モッコ刺し子、山形県の長井さしの合同作品展覧会や刺し子ワークショップなどが楽しめる展示会。
●前期:旧森田銀行本店/後期:cafe micnic
●一部有料
☎安島モッコの会 ☎090-4324-8628(森岡)

アートプロジェクト支援事業助成金は、地域文化の発信や新たな地域文化の創造、地域課題の解決に寄与することを目的に、県内各地で文化芸術を活用した地域活性化に取り組む事業を支援しています。



(公財)福井県文化振興事業団のホームページでは助成事業の一覧をご覧ください。



あわらに妖怪あらわる

11/1(金)~4(月・休) 10:00~17:55
あわら市に伝わる民話を元に、空間演出やデジタルアート、ワークショップなどが楽しめる「妖怪」と「アート」の体験型イベント。
●本願寺吉崎別院、道の駅蓮花の里あわら
●一部有料
☎湯のまちアート実行委員会 ☎info@oneart.jp

BUNGU NODE FES

11/2(土)、3(日・祝)
創造的な体験を通して文具に触れ、日常を彩る文具の存在や、自分の中にあるヒラメキや想いをカタチにするイベント。
●HORITALIFECANVAS ●一部有料
☎株式会社ホリタ ☎0776-23-1609

福井映画祭16TH

11/2(土)、3(日・祝)
全国から応募された約300本の自主制作映画の中から選ばれた作品や地元福井で市民と共に制作した映画を上映するイベント。
●福井メトロ劇場 ●有料
☎福井映画祭実行委員会 ☎mail@fukuifilmfestival.jp

幻の都・食文化ステージ

11/2(土)~4(月・休)
地元周辺7地区を中心とした、食、文化、伝統芸能の魅力をお披露目するイベント。
●一栗谷あさくら水駅
●無料
☎一栗谷あさくら水駅 ☎0776-41-2777

RamRamRam(ラムラムラム)

9/15(日) 10:00~20:00
越前大仏商店街にあるテナントを活用したアートカフェ、アート販売、アート体験、アートライブなどが楽しめるイベント。
●越前大仏、越前大仏商店街
●一部有料
☎ちゃまアート実行委員会 ☎info@oneart.jp

第36回今立現代美術展 Imadate Art Camp 2024

9/21(土)~10/21(月)
地域の文化資源である登録有形文化財を中心に、和紙文化と現代の表現者とのコラボレーションによる作品を展示する展覧会。
●卯立の工芸館、西野家住宅土蔵など
●一部有料
☎Imadate ART FIELD ☎imadate.af@gmail.com

あたらしいコンサート

10/14(月・祝) 10:00~12:00
老若男女が楽しめる、ニーズに合った鑑賞スタイルを選択できる新しい形のコンサート。ホワイエでは若狭の魅力溢れるマルシェを開催。
●パレア若狭 音楽ホール ●有料(条件により無料)
☎心からコンサート実行委員会 ☎080-3745-0744(森川)

さばえまつり

10/19(土)、20(日)
やぐらを使ったアーティストの演奏、盆踊り、ワークショップなど、鯖江に関わる様々な人がやりたいことを持ち寄り上げたお祭り。
●鯖江市西山公園芝生広場 ●無料
☎さばえまつり実行委員会
https://www.instagram.com/sabaematsuri/

Information

みんなで楽しむハーモニー オルガン・ミニコンサート

ご家族で気軽にお楽しみいただけるみんなのコンサート! 皆様をオルガンとヴァイオリンの世界へ誘います。終演後には、楽器体験やオルガン探検ツアーも開催します。



小清水桃子 山口梨恵

八神純子 キミの街へ2024 ~Share the moment with you~

「みずいろの雨」から45年、進化し続ける八神純子の歌声をトリオでお届け。ハーモニーホールふくいで、当時以上のパワフルな歌声をお楽しみください。



八神純子

廣津留すみれ トーク&ヴァイオリン・リサイタル

ハーバード大学とジュリアード音楽院を卒業後、起業家、作家、TV番組コメンテーターとして多方面で活躍中の天才ヴァイオリニスト、廣津留すみれによるトーク付きの贅沢なコンサートをお届けします。



廣津留すみれ

令和6年度 福井ジュニア弦楽アンサンブル・セミナー 成果発表会

小学生から大学生までの弦楽器を学ぶ子どもたちが、地元ゆかりのある講師とともに念願のステージに立ちます。若き音楽家たちの演奏をお楽しみに。



昨年の成果発表会の様子

来年3月 オープンデイズ2025「スプリング・フェスティバル」出演者募集!

オルガンミニコンサート、楽器体験、アートツアーなど、子どもから大人まで参加できるホール開放型イベントを今年度も開催。「スプリング・フェスティバル」の出演者を募集します。



これまでの様子

編集後記

8月開催の「若い芽コンサート」。3人の中学生ソリストは成長目覚ましく、満席のお客様の中、輝きに満ちた演奏を披露してくれました。「若い芽」を支えた弦楽四重奏メンバーはいずれも、1991〜2006年まで勝山市で地元有志が主催した「アスペン音楽祭」のセミナーで学んだそうです。

スポンサーリスト: URALA, 関西電力, KINOKI, JAKUETS, 日華化学, 福井銀行, 福井新聞社, 福井テレビ, FUKUVI, 松井証券, 公債協賛社, 関西電力, 興和江守株式会社, 株式会社タッセイ, FM FUKUI, 福井信用金庫, FBC, 株式会社増田舎, 法人協賛社, JAKUETS, 株式会社新内, 福井県民会館, 福井銀行, 福井信用金庫, FUKUVI, 北陸銀行, 三井物産株式会社

7 Organ 20th Anniversary with 梅干野安未

Krajaと過ごす北欧のクリスマス ゲスト:林イグネル小百合

14 パイプオルガンと歌う ふくいの第九 2024

ブルグミュラーコンクール 北陸ファイナル

15 福井交響楽団 ウィンターコンサート 2024

ブルグミュラーコンクール 北陸ファイナル

21 堀米ゆず子 & 大宅さおり デュオリサイタル

ブルグミュラーコンクール 北陸ファイナル

22 福井大学吹奏楽部 第45回 定期演奏会

プレミュージックスタイル 2024 ~幼児コース発表会~

28 ウィンドアンサンブル・ソレイユ・ふくい 第25回 定期演奏会

Music style 2024 ~ピアノ・エレクトーン発表会~

30 福井警察音楽隊 創設70周年記念演奏会

Music style 2024 ~ピアノ・エレクトーン発表会~

1 第15回 日本パッサコンクール 福井地区大会

絵本専門家が贈るピアノと読み聞かせで綴る絵本コンサート

松井恵美子門下生 ピアノ発表会

松井恵美子門下生 ピアノ発表会

4 HHFインクルーシブ事業 バリアフリーコンサート II ~秋~

Brass Band ROAR! 12th Concert

9 ふくい県民総合文化祭 北陸新幹線福井開業イベント

ふくい県民総合文化祭 北陸新幹線福井開業イベント

10 アンドリス・ネルソンズ 指揮 ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団

アンドリス・ネルソンズ 指揮 ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団

16 第44回 近畿高等学校総合文化祭 総合開会行事

第44回 近畿高等学校総合文化祭 総合開会行事

17 第44回 近畿高等学校総合文化祭 合唱・器楽・管弦楽部門

第44回 近畿高等学校総合文化祭 合唱・器楽・管弦楽部門

24 第44回 近畿高等学校総合文化祭 吹奏楽部門・総合開会式

第44回 近畿高等学校総合文化祭 吹奏楽部門・総合開会式

30 福井警察音楽隊 創設70周年記念演奏会

福井警察音楽隊 創設70周年記念演奏会

1 第15回 日本パッサコンクール 福井地区大会

第15回 日本パッサコンクール 福井地区大会

絵本専門家が贈るピアノと読み聞かせで綴る絵本コンサート

絵本専門家が贈るピアノと読み聞かせで綴る絵本コンサート

松井恵美子門下生 ピアノ発表会

松井恵美子門下生 ピアノ発表会

ハーモニーホールふくい コンサート情報

CONCERT INFORMATION

[2024.10.11.12]

20 デンマークの最高峰トリオ ドリマーズ・サーカス

デンマークの最高峰トリオ ドリマーズ・サーカス

24 第33回 ハーモニーブンカサロン 「音楽の都」ウィーンの秘密を探る

第33回 ハーモニーブンカサロン 「音楽の都」ウィーンの秘密を探る

26 令和6年度 第75回 福井県音楽コンクール本選会

令和6年度 第75回 福井県音楽コンクール本選会

27 地域が奏でるハーモニー 2024 ハーモニーあそびアンサンブル 第30回 定期演奏会

地域が奏でるハーモニー 2024 ハーモニーあそびアンサンブル

令和6年度 第75回 福井県音楽コンクール本選会 (ピアノ部門)

令和6年度 第75回 福井県音楽コンクール本選会 (ピアノ部門)

12 ふくい県民総合文化祭 北陸新幹線福井開業イベント

ふくい県民総合文化祭 北陸新幹線福井開業イベント

13 ふくい県民総合文化祭 北陸新幹線福井開業イベント

ふくい県民総合文化祭 北陸新幹線福井開業イベント

14 越前ウィンドアンサンブル 第35回 定期演奏会

越前ウィンドアンサンブル 第35回 定期演奏会

19 Organ 20th Anniversary みんなで楽しむハーモニー オルガン・ミニコンサート

Organ 20th Anniversary みんなで楽しむハーモニー

10月

3 国際音楽交歓コンサート2024

国際音楽交歓コンサート2024

5 こもれ関の会 第23回 Vocal Concert

こもれ関の会 第23回 Vocal Concert

6 秋の子ども音楽会 「あけてみよう♪音の宝箱」

秋の子ども音楽会 「あけてみよう♪音の宝箱」

沢井箏曲院 創立45周年記念コンサート

沢井箏曲院 創立45周年記念コンサート

12 ふくい県民総合文化祭 北陸新幹線福井開業イベント

ふくい県民総合文化祭 北陸新幹線福井開業イベント

13 ふくい県民総合文化祭 北陸新幹線福井開業イベント

ふくい県民総合文化祭 北陸新幹線福井開業イベント

14 越前ウィンドアンサンブル 第35回 定期演奏会

越前ウィンドアンサンブル 第35回 定期演奏会

19 Organ 20th Anniversary みんなで楽しむハーモニー オルガン・ミニコンサート

Organ 20th Anniversary みんなで楽しむハーモニー

※□部は、当ホールの自主公演です。(10/20、11/2、12/7は、小学生から大学生まで半額です) ※掲載内容は都合により変更される場合がありますので、予めご了承ください。(8/28時点の情報です) ※チケットに関するお問い合わせは、各主催者までお願いします。